

# 富大比較文学 第七集

富山大学比較文学会編集・刊行

2014

小説家としての賀川豊彦	萩村 成昭 (1)
——『死線を超えて』を中心——	
宮澤賢治論	表 千尋 (15)
——恋愛・結婚観の変遷と童話作品への反映(上)——	
『放浪記』から見る林芙美子像の変遷	高藤 実代 (29)
——映画・演劇を視座として——	
「滝口修造とシュルレアリスム美術」研究	利長明日海 (45)
——日本へのシュルレアリスム美術伝播を中心に——	
尾崎翠研究	青井 詩織 (59)
——女主人公の影と彷徨——	
三つ巴の構造	近藤 周吾 (71)
——萱野二十一の戯曲「父と母」——	